

特徴

平成10年からボランティア団体が発足している本校では、平成14年度にコーディネーター部会が発足し、その後、平成19年度にコミュニティ・スクールの指定を受け、平成20年度から学校支援地域本部事業として実施しています。

単発のボランティア活動ではなく、年間を通して毎年改善しながら継続的に行っていますが、この背景としては、学校経営協議会による評価・支援体制や実際にボランティアを束ねるコーディネーター部会による活動が大きく、学校・家庭・地域が三位一体となって、地域ぐるみで子供を育てていく意識を高めていくことで、地域全体の活性化につながっています。

また、コーディネーター部会により、ボランティア養成講座を毎年開催し、ボランティアの心得等啓発、その組織維持・継続を図る活動によって、本校の教育活動が支えられています。

● 主な活動内容（平成22年度）

ふれあいパトロール(朝の見守り)、学習支援ボランティア(各教科支援)、図書ボランティア(図書室整備・読み聞かせ)、花と緑のボランティア(花壇・ビオトープ整備)、おやじの会(ペットボトルロケット飛ばし・流しそうめん大会)、クラブ活動ボランティア(クラブ活動支援)、ふれあいマンデー(毎週月曜日 地域の方々とのふれあい活動)、その他ボランティア養成講座、プレ1年生等コーディネーター主催事業



プラスタイム(夏休み)

● 地域の機関・団体との連携協力

早稲田大学人間科学学術院竹中研究室(健康な身体づくり)、白梅学園大学(学生ボランティア)、株式会社ブリヂストン東京工場(社会科見学 ビオトープ造成)、小平市商工会議所(ビオトープ造成)、六小地区青少対(スポーツまつりやほほえみコンサート等文化・スポーツ行事)、各商店会(お店番体験)、社会福祉協議会ボランティアセンター(福祉体験)、浅見農園、加藤農園、小平小麦の会、日本特用林産振興会(しいたけ栽培)等と連携

● 地域ボランティアやコーディネーターの活動状況

地域住民が講師を担うなどして、上記の活動等を行っています。

なお、近年のボランティアの延べ参加者数は、年間5,000人を超えています。

コーディネーターの役割としては、学校とボランティア間の調整、学校とボランティアとのパイプ役、ボランティアの募集・登録、企画した事業の展開(講座、授業、放課後、休日等)などを担っています。

● 組織・運営について

- ◆学校経営協議会[月1回](地域住民、保育園、企業、保護者等)
- ◆コーディネーター部会[月1回程度](地域住民、保護者等)
- ◆各ボランティア組織(10団体)
 - ・クラブボランティア交流会[年1回]
 - ・ボランティア交流会[年1回]

● 取組の効果について

地域のボランティアの関わりによって、充実した体験活動、人々とのふれあいができ、多くの子供にとって地域活動への興味・関心又は参加へつながっています。

また、ボランティアの方々にとっても、子供の姿から元気もらい、生き生きとするなどの効果もあり、地域ぐるみで子供を育てる意識が高まっています。

多くの目と心と知恵で豊かな学びを創造することがコーディネーターやボランティアの生きがい・やりがいとなり、地域全体の活性化へつながっています。